

Since 1972.2.24



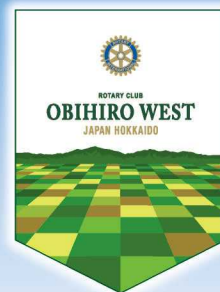
ロータリーは機会の扉を開く

帯広西ロータリークラブ

第2348回例会

2021.6.10

会報



Rotary



■RI第2500地区テーマ■

ランクアップしましょう

■クラブ・テーマ■

化学反応を起こす出会いの機会を作ろう

会長報告

佐々木 和彦 会長

本日の例会は、委員長・理事、16名の退任挨拶です。

今月末で退職する5ロータリー事務局の医王田恵子さんの後任が決まりました。春木里奈子さんといって7月1日から来てくれます。皆さんどうぞ優しくしてあげてください。



2021年バーチャル国際大会が今日から始まります。本会議は今週末12日（土曜日）と13日（日曜日）です。My Rotaryから、入ると視聴できると思います。興味のある方はご覧になっていただければと思います。

◇スポーツ大会

ゴルフ:集合 午前7時30分 (8:00スタート)

場 所: 帯広国際CC

パークゴルフ:集合 午前9時30分

(10:00スタート)

場 所: はらっぱ36パークゴルフ場

札幌川河川敷

◇年度末最終夜間例会

午後6時30分: 北海道ホテル

⑥帯広北RC、年度末最終夜間例会開催のご案内

日 時 6月25日 (金) 午後6時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

⑦帯広RC、6月30日(水)は、休会と致します。

会務報告

小野 辰夫 幹事

①帯広北RC、6月11、18日(金)の例会は、休会と致します。

②帯広南RC、6月14日(月)の例会は、休会と致します。

③帯広RC、6月16日(水)の例会は、zoom例会と致します。

④帯広東RC、6月15日(火)の例会は、休会と致します。

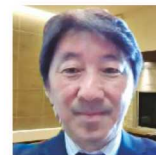
⑤帯広西RC6月24日(木)

スポーツ大会・年度末最終夜間例会開催のご案内



ニコニコ献金

岡田 英樹 親睦活動委員



ニコニコ	6月10日	32,000 円
献 金	累 計	582,000 円 (6月10日現在)



会 長 佐々木和彦 副会長 森 房明 会場監督理事 菊池 俊博 発行: 広報委員会
 幹 事 小野 辰夫 副会長 太田 豊 プログラム委員会理事 熊切 宏樹 委員長 松原 宏樹 (副)郷 誠一



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
 創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

「委員長・理事退任挨拶」

平田 宗利 会計



一年間会計をやらせて頂きましたが予算の作成から会長・幹事そして役員・理事・各委員長の皆様には大変お世話になりました。クラブの会計と言う貴重な経験をさせて頂き、お金の流れからのクラブ運営に対する理解が少し深まったと思っております。会計の実務に関しましては事務局のご支援とご協力が非常に大きく、本当に助かりました、ありがとうございました。

会計の仕事はまだ決算が残っておりますので、最後まで気を抜かず確実な状態で次年度の北川会計に引き継ぎたいと思います。

一年間ご協力ありがとうございました。

菊池 俊博 会場監督



昨年より継続中であるコロナ禍において、通例にないテーブル配席や ZOOM 例会における進行において、会員皆様のご理解を頂いておりました事をこの場をお借りしお礼申し上げます。ありがとうございました。また今回初めての経験であった理事会においては『皆様の安全と安心』を一番に考え、繰り返し協議が行われて参りました。

改めて、クラブ運営における『大変さと大切さ』を深く感じる事が出来た1年であったとも思っております。

副 SAA であった、齊藤正彦会員、久保且佳会員、西藤博行会員の4名でチームワークよく例会を運営出来たことに関しましては大変感謝しております。

1年間、皆様のご協力に感謝し SAA 退任挨拶とさせて頂きます。

天野 清一 出席委員長



皆さんこんにちは佐々木会長年度も残り少なくなりよいよこの時期が来ました、小野幹事から出席委員会委員長の依頼を受けて気合を入れて会員の出席チェックをするつもりで委員長の大役をお受けしましたがコロナ禍の為集合例会が20回足らずと1年間の例会の半分以上休会と ZOOM 例会で終わりそうです。

こんな世の中が来るのかと疑いながら日々過ごしてきましたが、本当に何も無く1年が過ぎます。出席委員会として活動も出来ませんでした只々残念でした。

集合例会でスクール形式の皆前を向いて席に座っているのが顔が解らず会員の頭の雰囲気チェックするのはとても難しいことを知りました。

高田晃一副委員長と良く話をしながら名前をチェックする難しさを体験出来たことを今年度出席委員会で体験したことを今年度の委員会活動としてまとめさせていただきます。

最後に一年間委員会を支えていただきました高田副委員長・太田会員・深澤会員有り難うございました。

長平 圭太 親睦活動委員長



今年度の親睦委員会としての活動を振り返りますと、家族野遊会～中止、年末家族会～中止、年越しそば例会～中止、新年交礼会～夜間例会から短縮例会へ変更、創立記念例会～夜間例会から ZOOM 例会に変更、スポーツ大会・最終夜間例会～6月24日に開催の予定。このように新型コロナウイルス感染症拡大の影響により殆どの行事や例会が中止となってしまう不完全燃焼の1年となってしまう、歴代の親睦活動委員長の中で1番何もしなかった委員長となってしまいました。せめて6月24日のスポーツ大会・最終夜間例会だけでも開催したいなと思っておりますが、これもまだわからない状況です。

結果としては何も出来ませんでした。岡田副委員長や宮前副委員長はじめ、経験豊富な先輩方や今年入会された会員の委員会メンバーの皆様にご協力頂き活動ができ、また委員長という大役を務めさせて頂けたことに感謝を申し上げます。

会員の皆様にはコロナ禍で何かとご迷惑をおかけ致しましたが、寛大なるご理解と絶大なるご協力を賜りましたことに心よりお礼申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

熊切 宏樹 プログラム委員長



本年度はコロナ禍の中、各委員長の皆様には急なプログラムの変更や ZOOM 例会への対応など、臨機応変に対応いただきましたことに感謝申し上げます。

またコロナの状況が分からない為に外部からの講師をお呼びしての例会の設定が難しく、例年より例会がメンバーのみの卓話が多かったことは残念でしたが、それはそれでメンバーそれぞれを知る機会になり良かったのかなとも思いました。

プログラム委員会は年間5回の担当例会を予定

しておりましたが、9月24日の喜寿・古希・還暦のお祝いを北海道ホテルの会場例会でメンバーが集まり盛大に出来たことは本当に良かったなと思っております。1年間有難うございました。

萱場 誠一 健康増進委員長

(辻田 茂生 副委員長代読)



今年度、健康増進委員会では昨年2月ごろから始まった新型コロナウイルス感染症にどのような対策を行えば良いのか会員の皆様に情報発信して行くことを中心に3回の担当例会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で例会が行えないなど2回の担当例会の実施となってしまいました。

未だ猛威を振るう新型コロナウイルスですがワクチン接種が進み平常な生活が早く戻ってくれることを願います。1年間ご理解とご協力いただきありがとうございました。

佐々木 嘉晃 会員増強委員長



今年度の例会は休会があり、またZOOM例会になり顔を合わせる機会が少なくなり残念な1年でした。

コロナ禍の中なので、年度はじめの活動計画では3名の会員増を考えていました。会員の皆様の紹介で、今年度は5名の新入会員を迎えることができました。

ただ、残念ではありますが、諸般の事情により、2名が退会されました。年度始めは76名で始まり、現在79名の会員となっています。コロナ禍の中ではありましたが3名の会員増で1年を終ることが出来ました。皆様方のご協力に感謝します。1年間ありがとうございました。

松原 宏樹 広報委員長



今年度は例会の中止やZOOMでの開催などイレギュラーな年度でしたが、委員の皆さん・事務局の山岸さん・原稿を下さる会員の皆さま・ZOOM例会をご指導頂いた辻田会員・名前を挙げればキリがありませんが様々な方々のお陰をもちまして、スムーズな会報の発行ができたと思います。ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございます。

他にはFacebookの発信、ホームページの名簿の修正などをさせて頂きました。Facebookに関しましては、いいねの数を増やす事を目標に置いていましたが、なかなか増えない中で、毎回いいねを下さった方や、コメントを頂きました方々に心よりお礼申し上げます。

委員長をさせて頂いて感じたことは、原稿を頂けるようお願いすることに不満を感じている方もいらっしゃるのかもしれませんが、私なりに委員の皆さんの負担をできるだけ軽減できればという

事に重点を置いて運営している中、同じ委員長を経験しているにもかかわらず、ご協力頂けない方もいらっしゃる、それぞれの考え方もあるのですが、これからは時代の流れと共に、より効率的に運営できるようになる事を願います。

一年間ありがとうございました。

千葉 清秀 ロータリー委員長



本年度は10月、3月、先週と3回の担当例会をさせて頂きました、私自身初めての委員長で分からない事だらけでしたが、委員の先輩方、又、快くプログラムでの卓話を引き受けてくださいました、鈴木会員、古田会員のおかげで有意義な例会となりました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

活動計画にありました家庭集会、新入会員オリエンテーションはコロナの関係で中止となり、特に家庭集会は、今年度、新会員も多く入会され懇親の場が少なくなったのが少し心残りであります。

次年度はコロナも収束し通常の日常を取り戻せる事を願い退任の挨拶とさせて頂きます。1年間ありがとうございました。

鎌田 裕樹 職業奉仕委員長



一年間活動にご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。本年度はコロナ禍の中、様々な活動が制約される中で、ご尽力いただいた執行部の方、プログラム委員会の方、本当にご苦勞様でした。職業奉仕委員会ではコロナ禍の中、どのような職業奉仕があなたに求められているのかを考える一年だったと思います。

コロナ禍が治まっても、新たな仕事の形が求められる状態は続くと思われれます。

その中で柔軟に必要な仕事を考え実践することが求められる時代と考え、卓話をさせて頂きました。

今年は毎年恒例の職場訪問が実施できなかったことが残念でしたが、卓話としてコロナに関するお話を2回させて頂きました。このほかに私は健康増進委員会の卓話としてもコロナの話をさせて頂きましたので、一年中コロナの話をしていたような感じがあります。これも私の職業柄何かの巡り合わせだったと思います。プログラムを実践するにあたりご助言ご支援をいただいた堂山副委員長を始めとする職業奉仕委員会のメンバーに感謝を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

伊藤 公康 社会奉仕委員長



本年度は、担当例会を3回行う予定でしたが新型コロナウイルスの影響で2回の開催となりました。1回目の例会では、帯広市の保健師、佐々木裕子様をお招きし、「認知症の正しい理解」と題し、ご講演をいただきました。2回目は、ZOOMにて私と松田副委員長の卓話とさせていただきます。普段あまり話すことのない仕事のお話をさせていただきます。リモートでは、会話の内容がちゃんと伝わっているのか、話すことの難しさを感じました。

また、地区補助金を活用した継続事業として「第3回帯広西ロータリークラブ会長杯十勝ジュニアフットサルフェスティバル」を開催しました。

その他、新年交礼会にて募金を行ないました。皆様の温かいご支援、誠にありがとうございました。

活動をとおして社会の課題と自分のできることをわずかばかりですが考える1年になったと思います。ただ、委員会メンバーと親睦を図れなかったことはとても反省しております。多くの皆様のご支援、ご協力に感謝を申し上げ、活動報告とさせていただきます。

松本 和彦 青少年奉仕委員長



未熟者の私を指名してくださり貴重な経験をさせて下さいました佐々木会長、小野幹事、また暖かく見守っていただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

今年度はコロナ禍という事でRACの第一例会からZOOM例会になり、私も楽しみにしておりましたソフトボール大会、チャリティーフリーマーケットも中止と残念な思いもありましたが、RAC 田辺会長をはじめ委員会メンバーの創意工夫もあり、そのほとんどがZOOM例会でありながらコミュニケーションのとれる素晴らしい例会が多かったと思います。最後になりますが今後もRACの活動がより良くなる為に会員推薦を皆様方をお願いしたいと思います。一年間ありがとうございました。

中川 芳明 国際奉仕委員長



まずもって会員の皆様には今年度国際奉仕委員会にご理解、ご協力頂き誠に有難うございました。コロナ禍もあり予定も大幅に変わりましたが、会員皆様方のご理解を頂き中止することもなく無事3例会終了することができました。

今後西ロータリーとして国際奉仕委員会をどのように考えていくのか？という当初の投げかけでしたが、なかなか的を射るような例会も出来ず、大変申し訳なく思っております。無事予定例会を全う出来たことでお許しを頂ければと思います。

また7ロータリー合同例会もコロナ禍で中止となり、西ロータリー単独例会となりました。当初の講師予定でありましたの田辺由美さんにもご尽力頂きビデオレターにて参加して頂き感謝申し上げます。一年間大変お世話になり有難うございました。

藤本 剛 ロータリー財団副委員長



本年度、会員の皆様にはロータリー財団に大変ご理解とご協力をいただき、全会員からの100ドル献金、ポリオプラス献金、また年時寄付で多くの会員より多額の寄付を賜り誠にありがとうございました。担当例会のプログラムでは、ロータリー財団についてと題しまして、主に年次寄付金が地区補助金として活用でき西ロータリーでの活動実績などを報告させていただきました。不勉強ながらもロータリー財団の活動を改めて寄付行為が活動資金になり西ロータリークラブとして地域社会に直接貢献できることの重要性を理解いたしました。今後とも皆様の財団へのご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

飯田 正行 米山記念奨学委員長



本年度は、2回の例会を担当させて頂きました。3月の例会で取り上げましたSDGsに関する情報は、今後のロータリー活動や企業経営に必要不可欠なことだと考えています。一時のブームや流行ではなく、地球に生きる者として常に、行動の規範となるような活動にしていきたいと思えます。

本来であればメンバーの皆さん、お一人お一人と膝を交えて米山記念奨学委員会の意義をお話ししながら特別寄付を願いしなければならないところでしたが、コロナ禍のなかそれもかないませんでした。しかしながら、無理なお願いを快く受け止めて頂いた多くのメンバーより多額の特別寄付を頂きました。心より感謝申し上げます。

若林 剛 長期計画委員長



50周年実行委員会に例会をお譲りし例会の実績はありませんでしたので、直前会長の立場でご挨拶します。

前年度に突如発生したコロナの嵐は、佐々木年度になっても収まりませんでした。そんな嵐の中においてもレーダーのようにZOOMを使って佐々木丸は無事に航海を終えてまもなく港に戻ってきます。少し早いですが、一年間の長旅大変ご苦労さまでした。最終例会楽しみにしています。一年間お世話になりました。